

白浜レスキューネットワーク通信 7月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

7月1日～7月31日

電話件数 220件

メール相談 3人

保護件数 4件(男性2名、女性2名)

帰宅件数 2件(男性1名、女性1名)

○6日、先週から今週にかけて、女性と男性を保護。女性は、娘からの暴言と暴力に疲れ果てていた。警察や出てきた町の行政など、各方面に女性を保護していることを伝えた。また、娘にも無事であることだけを伝えたが、こちらの場所を教えず、名乗らなかつた。翌日、誘拐事件として警察に届けが出されたことと知らせが来たが、前日に各方面に連絡を取り説明していたことで、何事もなく警察も対応してくれた。

男性は、6年前に母親を亡くすまでは介護しながら生活していたようだ。この6年は、アルバイトと残してもらった遺産で生活していたが底をついた。全部捨てて死のうとしたが、死にきれず電話をかけてきた。やり直していくために、色々整理をつけていくことがありそうだ。

○7日、女性を保護。その日のうちに帰宅。

○12日、男性を保護。その日のうちに帰宅。

生活自立支援活動

7月1日～7月31日

滞在者数 16人(男性13人、女性3人)

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、惣菜部門での仕事で、事務的な仕事をもらうばかりが優先して、洗い物や掃除などの作業に入れていないことがわかった。そこで、掃除の時間を定め、その時間は全員で掃除をすることになった。また、仕込み作業の合間で洗い物などに入るよう心掛けさせた。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている80歳の男は、パーキンソン病との診断を受け、薬を飲み始めた。

○コンビニとまちなかキッチンで働いている30代男性は、簡易裁判所や法律事務所から簡易書留が届き、過去の借金や交通違反の罰金未納などが明らかになった。

○糖尿病を患っている男性は、インシュリンの量も減っているようだ。とにかく健康が一番大事で、規則正しい生活と食事を心がけている。県外への就職活動は調べることで、実際には面談など申し込みまで動いていない。

○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と3つ掛け持ちしている男性は、街中キッチンの中で、いつもご飯を担当している。長く同じ責任を担ってきたので、別の作業に挑戦してもらおうことにした。

まちなかキッチンで働くすべての人が対象で、部署移動を始めた。理由は、すべての人が複数個所担当できるようにするためだ。

○20代の男性は、お付き合いしている女性との結婚も考えるため、アパートに引っ越すことを決めた。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、まちなかキッチンでは主に注文取りと配達を任されている。料理に挑戦している気持ちはないか確認している。ハンドベルと男性コーラス、聖歌隊では、できないところに前向きに取り組む良い訓練となっている。

○言葉に気を付けている男性は、まちなかキッチンにおいて、ポテトサラダやマカロニサラダなどを上手に作るようになった。主菜を作ることにも挑戦させたいと考えている。

○昨年4月から共同生活に加わっている男性は、このままでは願っている道に進めないと焦っている。

○2月から共同生活に加わった70代の男性は、7月末が来ても、アパートの問題を決着させることができず、このままではアパートへ移って自分で生活する方がいいのではないかと話し合った。

○まちなかキッチンで惣菜部門の仕事を始めた女性は、いつも精神的に不安定なところを過ごしているが、しかし、よく笑うことで救われている。

○他のNPOから移ってきた男性は、人と一緒にご飯を食べることができない。緊張感から吐き気を催すからだ。グループホームなどに本当に移ってやっていけるのか心配だ。掃除や農作業など人との関わりはずいぶん自然にできるようになった。

○6日に保護した男性は、マッサージに行った際に腰に激痛が走り、起き上がれなくなった。この一か月ほぼ寝て暮らした。

○今月初めに保護した女性は、2か月ここで過ごし、共依存になっている娘との関係を改善しようと勧めた。情緒豊かでとても心豊かなおばあちゃんだ。交換ノートの内容は、季節を感じ、生活の中の発見など視点も面白く、とても読むのが楽しいものだ。

○今月初めから滞在し始めた男性は、引きこもっていたことの影響で、人との関わり方が上手ではない。声のかけ方、物事の判断の仕方など、一つ一つ確認していくしかない。

○5月に亡くなられた女性のご親族が、遺骨を引き取りに来てくださった。ここでの彼女の生活について分かち合うことができた。

自殺予防活動

・フードバンク&フードドライブ

2人の男性が利用した。

・放課後クラブ・コペルくんとコペルくん+

小学校5年生が中心に集まっている。

・相談電話

3日、10日、17日、24日、31日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・コペルくんサマースペシャル



7月26日～8月2日まで韓国からボランティアが来てくれ、手伝ってくれた。

・クリスマスプレスに取り上げられた。



7月13日、14日に東京板橋区の教会で行われたドキュメンタリー映画の上映と講演会の1コマ。

・ドキュメンタリー映画がニューヨークで行われた映画祭で上映された。

